



中国の椅子

森の本多コレクション展

本多静雄の眼

2024年4月4日[木] - 6月16日[日]

開館時間：午後9時30分～午後5時

休館日：月曜日（ただし4月29日、5月6日は開館）

会場：豊田市本多記念民芸の森（田舎家）

観覧料：無料

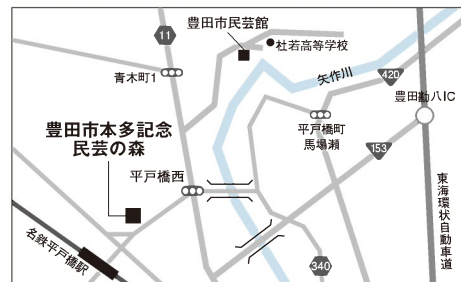
豊田市名誉市民で実業家、日本有数の古陶磁研究家として知られる故・本多静雄（1898-1999）。本展では、本多が収集し豊田市に寄贈した資料（本多コレクション）の中から、国内外の民芸品を中心に紹介します。

豊田市本多記念民芸の森 TOYOTASHI-HONDAKINEN-MINGEI-NO-MORI

※豊田市民芸館施設条例の制定により2024（令和6）年4月1日から施設名称を「豊田市民芸の森」から「豊田市本多記念民芸の森」に変更。

〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町石平60-1 TEL:0565-46-0001

<https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/mingeinomori/>



〈電車〉名鉄三河線平戸橋駅より徒歩約5分
〈お車〉（名古屋方面から）猿投グリーンロード・枝下ICから約10分
（多治見・岡崎方面から）東海環状自動車道・豊田勘八から約10分

■ 豊田市本多記念民芸の森とは

豊田市名誉市民・本多静雄の邸宅のあった場所です。本多静雄は、内閣技術院を退官後に郷里の豊田市に戻り、昭和21年(1946)平戸橋町に居を構えました。本多はこの場所を拠点に実業家として活躍する一方、精力的に古陶磁の研究や民芸品の収集に取り組みました。この場所は、平成5年に民芸普及のため豊田市に寄贈され、その後、敷地・建物を整備して平成28年4月に「民芸の森」として一般公開を始めました。令和6年4月からは、本多静雄が収集した資料を民芸館の「さなげ古窯本多記念館」から集約し、「本多記念民芸の森」と名称を変更。現在、駐車場を含めた民芸の森の敷地は1万4千㎡で、この広大な敷地の中には様々な建物とモニュメントが点在しています。



■ 豊田市名誉市民 本多静雄

本多静雄は、1898年豊田市生まれ。電気通信事業と科学技術の向上に献身するとともに、古陶磁器の研究に取り組み、猿投窯を発見。民藝運動の創始者柳宗悦との出会いをきっかけに民藝運動に参加。名古屋民藝協会会長や日本民藝協会役員を務め、豊田市民芸館の設立に貢献、多くの民芸品を収集し、豊田市民芸館に寄贈する。貴重な資料や出土品の収集、研究をはじめ、郷土文化の発展に貢献した功績により、1977年に豊田市名誉市民となる。1987年杉本美術館の初代館長に就任。1999年102歳で永眠。

